

江戸・上方の本屋さん

令和7年10月21日(火)～12月22日(月)

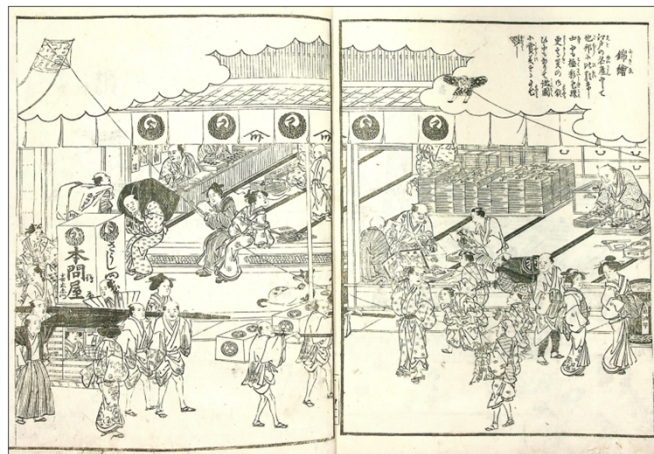
展示品目録

社会科学系図書館2階展示ホール

1. 江戸時代の本屋さんとは

江戸時代は、それまで貴族や僧侶など特権階級だけのものだった読書文化が、庶民の間にも広まった時代です。京で始まった商業出版は大坂や江戸に広がり、学問書や教養書だけでなく、名所図会や実用書、草双紙、読本など、多様な本が刊行されていきます。こうした出版文化を支えた江戸時代の本屋の営みについて紹介します。

『江戸名所圖會』より
鶴屋店先



No.	資料名	種類	発行年	コメント	所蔵館
パ・初	『堪忍袋緒メ善玉』山東京伝作、北尾重政画	刊本	1793(寛政5)年	山東京伝作、葛屋重三郎刊行の草双紙。「善玉」と「悪玉」による人間の心をめぐる対立を述べた教訓的な物語である。冒頭、物語の作者が原稿を描いている場面が描かれている。	国立国会図書館
パ・初	『的中地本問屋』十返舎一九作・画	刊本	1802(享和2)年	十返舎一九作、村田屋次(治)郎兵衛刊行の黄表紙。本の作成工程が細かく描かれており、作者、絵師が原稿を書き、筆耕が文字を清書して、彫師が彫って、摺師が摺って...という流れがよくわかる作品。	国立国会図書館
I-1	『人倫訓蒙圖彙』[蒔絵師源三郎繪]	刊本	1690(元禄3)年	1690(元禄3)年に京の村上勘兵衛らが刊行した風俗事典。当時の500以上の職業について職能や由来などを挿絵入りで解説した。「本屋」の項に書物問屋(村上勘兵衛)の店頭が描かれている。	国際文化学図書館
I-2	『江戸名所圖會』齋藤長秋編輯；藤原泉麻呂，月岑幸成校正；長谷川雪旦畫圖	刊本	1834(天保5)～1836(天保7)年	1834(天保5)～1836(天保7)年に江戸の須原屋茂兵衛・須原屋伊八が刊行した江戸の地誌、名所案内。「錦絵」の項に地本問屋の鶴屋喜右衛門の正月の店頭風景が掲載されている。	住田文庫（社会科学系図書館）
I-3	『都名所圖會』秋里湘夕撰；春朝齋竹原信繁畫	刊本	1780(安永9)年	1780(安永9)年に吉野屋為八が出版した京の名所記で、鳥瞰図や風俗図を多く含む名所図会本の先駆けとなった。吉野屋は刊行に際し、当時出版されていた京の名所記の板株を全て購入し類版防止に努めた。	海事科学分館
I-4	『都名所圖會 6巻』秋里湘夕選；竹原春朝齋畫	刊本	1780(安永9)年	『都名所図会』は大ヒットし、吉野屋は名所図会類を次々と刊行したが、為八没後に破産。板株は大坂の河内屋太助に買い取られた。展示図書は河内屋宗家の喜兵衛が版元となっている。	住田文庫（社会科学系図書館）

2. 京の本屋さん

日本で最初に本屋が成立した地域は京(京都)でした。中世の印刷物の多くはお経の本や仏教書であり、京の寺院が作成するうちに、本作りの土壌が京に整いました。慶長年間創業の老舗・出雲寺和泉掾、貝原益軒の本で成功した小川多左衛門、名所図会でその名を残した吉野屋為八等、京で活躍した本屋とその出版物を紹介します。

『光琳畫式』



No.	資料名	種類	発行年	コメント	所蔵館
パネル	『京羽二重』水雲堂孤松子[著]	図書	1915(大正4)年	京都の案内書『京羽二重』は、京都の略歴、縦横の町筋、名所などを紹介している。本書は翻刻版。底本: 京都, 小島徳右衛門, 貞享2(1685)年開板本。	総合・国際文化化学図書館
パネル	『増益書籍目録』	刊本	1698(元禄11)年	本屋による出版書目であり、タイトルがいろは順で並び、約6800タイトルものの記載がある。出雲寺和泉掾が刊行した『宇治拾遺物語』も載っている。	総合・国際文化化学図書館
2-1	『宇治拾遺物語』	刊本	1659(万治2)年	出雲寺和泉掾によって刊行された。鎌倉時代の説話集で、第3話「鬼に瘤取らるる事」(鬼のこぶ取り)、第48話「腰折雀」のように、今でも昔ばなしとして馴染みがあるものも含まれている。	小林文庫(人文科学図書館)
パネル	『宇津保物語』	刊本	1660(万治3)年	出雲寺和泉掾によって刊行された。天禄～長徳(970～999)頃に成立したと考えられる物語で、日本文学史上最初の長編物語とされる。	小林文庫(人文科学図書館)
パネル	『日本王代一覽』春齋林恕[編]	刊本	1663(寛文3)年	村上勘兵衛によって刊行された。林羅山の子、林鷲峯が記した日本通史。神武天皇代より始まり、正親町天皇代までを綴っている。	総合・国際文化化学図書館
2-2	『扶桑隱逸傳』不可思議撰	刊本	[江戸期]	村上勘兵衛によって刊行された。日本の隠逸者(世俗から離れ、隠れ住む人)について記されている。西行、兼好、鴨長明といった人物たちが取り上げられている。	小林文庫(人文科学図書館)
パネル	『家道訓』貝原篤信編	刊本	1712(正徳2)年跋	『家道訓』は儒学者・貝原益軒(名は篤信)が晩年に書いた教訓書である。柳枝軒こと小川多左衛門(巻末の刊記には「茨木多左衛門」とある)によって出版された。	総合・国際文化化学図書館
パネル	『有馬山温泉記』貝原篤信記	刊本	1721(享保6)年	『有馬山温泉記』は旅好きの貝原益軒が残した紀行記の1つで、有馬温泉の地誌や入湯の心得、京都～有馬～大坂の道中などが記されている。柳枝軒こと小川多左衛門(刊記には「茨城多左衛門」とある)が出版した。	人間科学図書館
2-3	『繪本玉かづら』	図書	1928(昭和3)～1929(昭和4)年	『繪本玉かづら』は京の浮世絵師・西川祐信による版画絵本の代表作である。上巻には京町屋の女風俗、下巻には遊女の日常などが描かれている。享保21(1736)年に菊屋喜兵衛が出版したものの和装複製版。	社会科学系図書館
パネル	『光琳畫式』[尾形光琳画; 合川秀成模]	刊本	1818(文化15)年	『光琳畫式』は尾形光琳の原画を京の浮世絵師・合川珉和(名は秀成)が模した色刷り本である。菊屋喜兵衛(京)、菊屋七郎兵衛(京)、敦賀屋九兵衛(大坂)の連名で出版された。	総合・国際文化化学図書館
2-4	『都名所圖會』秋里湘夕撰; 春朝齋竹原信繁畫	刊本	1780(安永9)年	吉野屋為八が出版した『都名所図会』は、俳諧師・秋里籬島と絵師・竹原春朝齋による名所案内記である。現地取材をもとにした細密な挿絵が最大の魅力で、当時のベストセラーとなった。	海事科学分館
2-5	『拾遺都名所図会』秋里湘夕[著]; 竹原信繁画	刊本	1787(天明7)年	ベストセラーとなった『都名所図会』を補うために刊行された続編が『拾遺都名所図会』である。秋里籬島が再び竹原春朝齋と組んで手がけ、吉野屋為八が出版した。	海事科学分館

3. 大坂の本屋さん

17世紀後半、元禄文化が花開いた大坂では、数多くの本屋からの出版が盛んになり、幕末には心齋橋筋に本屋が軒を連ね、大変な賑わいを見せました。『菅原伝授手習鑑』など人気を博した浄瑠璃の正本や、商売往来などの実用書、各地の紹介と旅行案内を兼ねた名所案内や航路図など庶民向けの本を手掛けた大坂を代表する本屋とその出版物を紹介します。



『淀川兩岸一覽』より「川崎、桜宮」



『繪本通俗三國志』

No.	資料名	種類	発行年	コメント	所蔵館
3-1	『菅原傳授手習鑑』 竹田出雲作	刊本	1746(延享3)年	浄瑠璃三大名作の一つ。10行本の正本。正本とは、江戸時代に刊行された浄瑠璃の台本で、節付がほどこしてあり、それを語った太夫が文句や節付に誤りのない正しい本であることを証明した奥書がある。	総合・国際文化図書館
パ° 祢	『大物船矢倉吉野花矢倉義経千本櫻』 竹田出雲, 三好松洛, 並木千柳作	刊本	1747(延享4)年	浄瑠璃三大名作の一つ。7行大字本の正本。歌舞伎の演目としても人気となっている。	総合・国際文化図書館
パ° 祢	『萬代大坂町鑑』 小川愛道編	刊本	1756(宝暦6)年	江戸時代の大坂三郷（北組、南組、天満組）の町名や橋の名前などをイロハ順に並べ、その位置を記述したもの。その後改訂増補版が出版され、便利で重宝なところから広く流布し利用された。	山口文庫 住田文庫（社会科学系図書館）
3-2	『後藤家彫物彩金抄』	刊本	1770(明和7)年	美術、茶道具の百科全書として出版された『古今和漢万宝全書』の13巻で刀装について記した書。後藤家は歴代の將軍家に仕え、彫金技術を継承してきた名門。	総合・国際文化図書館
3-3	『東国名勝志 3巻』 鳥飼醉雅子 [著] ; 月岡丹下 [畫]	刊本	1762(宝暦12)年	絵図を主体とし東国の名所旧跡とその歌枕にまつわる古今の名歌を合わせて紹介している。名所を絵図と共に描いた名所図会の先駆けと言われる。	小林文庫（人文科学図書館）
パ° 祢	『改正月令博物筌 正月部』 鳥飼洞齋翁編述	刊本	1808(文化5)年	貝原益軒『日本歳時記』の増補改訂版。洞斎没後の出版。四季折々の行事・風俗・動植物・詩歌などを網羅し、漢詩・和歌・連歌などから用例を引いて解説しており文学的な価値も持つ。	山口文庫
3-4	『萬寶商賣往来』 堀流水軒著	刊本	1719(享保4)年	大坂の書家堀流水軒が、商いに必要な語彙や心得を絵入りで記した商人の子弟のための教科書。	住田文庫（社会科学系図書館）
3-5	『女源氏教訓鑑』	刊本	1736(元文元)年	源氏物語の内容や場面に沿って、読み書きや女性としての教養や心得、日常の振る舞いなどを記した往来物（教科書）。	小林文庫（人文科学図書館）
パ° 祢	『淀川兩岸一覽 上り船之部 上』 暁晴翁編著 ; 松川半山書圖	刊本	1856(安政3)年序	淀川流域の兩岸に点在する名所や街道などを紹介した船旅の案内書。	総合・国際文化図書館
3-6	『改正日本船路細見記』 美啓 [編]	刊本	1851(嘉永4)年	船乗必携の書。港の説明や天候の見方、潮の流れなど、実用的知識を主としているため、当時の和船の船頭に愛用された。天保や嘉永に刊行された版が今でも多く現存している。	住田文庫（社会科学系図書館）
パ° 祢	『俳諧歳時記 春之部-夏之部』 曲亭主人纂輯	刊本	1803(享和3)年	後に読本作者として一世を風靡する曲亭馬琴がまとめた季語の事典。こうした季語集を「歳時記」と称した最初の例。	山口文庫
3-7	『繪本通俗三國志 卷之1, 卷之4』 葛飾戴斗畫圖	刊本		三国志を題材とした繪本読本。天保期に出版され人気を博し、明治になっても印刷・販売された。挿絵の葛飾戴斗は北斎の高弟。	小林文庫（人文科学図書館）

4. 江戸の本屋さん

京や大坂から遅れて繁栄を迎えた江戸の本屋は、草双紙や洒落本などの地本と呼ばれる江戸独自の出版物も誕生し、町人にも浸透することで発展していきました。2025年のNHK大河ドラマ『べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～』でも主人公として取り上げられた蔦屋重三郎などの江戸の出版文化を支えた本屋とその出版物を紹介します。

『大磯風俗仕懸文庫』



No.	資料名	種類	発行年	コメント	所蔵館
4-1	『新板改正文化武鑑』	刊本	1815(文化12)年	武鑑は、諸大名や江戸家老、江戸城出入りの御用商人などの姓名、石高、住所が掲載されている江戸城職員録や武士名鑑にあたる。定期的に刊行、改訂され200年以上出版され続けた。	人間科学図書館※
4-2	『解体新書』與般亞單闕兒武思著；杉田玄白譯；中川淳庵校；石川玄常參；桂川甫周閱；小田野直武〔圖〕	刊本	1774(安永3)年	杉田玄白らが中心となり、ドイツ人医師クルムスの解剖書のオランダ語訳『ターヘル・アナトミア』を翻訳したもの。処罰を受けないように慎重に出版した。	大西文庫（人間科学図書館）
パ 祉	『三國通覽圖説』林子平圖并説	刊本	1786(天明6)年	『三國通覽図説』は朝鮮、琉球、蝦夷の三國とその周辺の島々を国防上の観点から解説した軍事地理書。1792(寛政4)年に絶版を命じられ、市兵衛も重過料を課せられた。	住田文庫（社会科学系図書館）
4-3	『櫻姫筆再咲 前編』山東京傳作；歌川豊國画	刊本	1811(文化8)年序	山東京伝自作の読本『桜姫全伝曙草紙』を、趣向を変えて合巻したものである。当館所蔵本は、通常の場合より大きな半紙本であり、鮮やかな色彩の袋があることから特装版として作成されたものとみられている。	人文科学図書館
4-4	『骨董集 上編下之巻前』醒々輯	刊本	1814(文化11)–1815(文化12)年	山東京伝が著した、近世の風俗や文物などについての考証随筆である。町人戯作者・浮世絵師であった京伝は、晩年には考証活動に没頭していた。中、下編は未刊のまま京伝は1816(文化13)年に病死した。	人文科学図書館
4-5	『脩紫田舎源氏 40編160巻(存38編152巻)』柳亭種彦作；歌川國貞画	刊本	1835(天保6)–1842(天保13)年	『源氏物語』を室町時代へと舞台を移し翻案、合巻にした作品。熱狂的な人気となり、14年間で38編も刊行された。しかし、天保の改革により絶版処分となった。	小林文庫（人文科学図書館）
4-6	『江戸買物獨案内 2巻附1巻』中川芳山堂撰	刊本	1824(文政7)年	江戸をよく知らない人でも一人で買い物ができるように、という趣旨の店案内本で、当時のタウンページの存在。本屋の住所、名前と本屋を示す印が掲載されている。	住田文庫（社会科学系図書館）
パ 祉	『うつら衣』也有〔撰〕；六林校；四方山人〔編〕	刊本	17--年	横井也有による俳文集。「うつら」は鳥の「うずら」のことで、ぼろ切れのつぎはぎに見えるうずらの羽毛のように拙文を集めたもの、という謙遜からつけられたタイトルである。	山口文庫
4-7	『一角纂考 2巻』木邨孔恭著	刊本	1795(寛政7)年	「一角」とはクジラ目のイッカクという動物のことで、西洋の書物に描かれたユニコーンやイッカクの図の模写を載せながらイッカクを紹介する本である。	住田文庫（社会科学系図書館）
4-8	『大磯風俗仕懸文庫』山東京傳著	刊本	1791(寛政3)年序	人気作家・山東京伝による遊郭を扱った洒落本。人気を博したが、政府に見とがめられて発禁となり、京伝は手鎖刑、蔦重は財産を半分没収という結果になった。	総合・国際文化図書館

所蔵館に※を付したものは現在社会科学系図書館で保存

Webアンケートにご協力をお願いします(所要時間1分)



(令和7年12月22日まで)

編集・発行：神戸大学附属図書館 2025（令和7）年 10月21日発行
神戸市灘区六甲台町2-1
URL: <https://lib.kobe-u.ac.jp>